



# 宮古市 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 教育委員会だより

No. 27

〔令和6年〕

9月15日号

発行 宮古市教育委員会  
〒027-8501  
宮古市宮町一丁目1番30号  
☎ 0193-62-2111

## 再任の抱負

### 牛歩の如く 教育委員 平井 亮 吉

まだまだ暑さが厳しい初秋の頃、3期目の任命をいただきました平井です。学生時代、部活動に傾注し、学業は大分疎かになっていましたが、多くの先輩、後輩等の仲間に恵まれました。時には私の視野の狭さを補い、助言をいただくことも多々あります。多少の回り道もありますが、間違っ

てはいなかったはずと独り合点しております。

2期の任命期間中にはコロナ禍もあり、様々な問題に関わり、改めて教育の重要性と大変さを目の当たりにしました。

崇高な理念、高い学識どちらも持ち合わせておりませんが、すべての方が社会と接点を持ち、健やかな笑顔で暮らす一助になるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。



平井亮吉教育委員が任期満了となり、再任されました。任期は令和6年8月30日から令和10年8月29日までの4年間です。

## 令和6年8月3日(土)・4日(日) ときどき!おしごと体験を開催

市民の方に埋蔵文化財(遺跡)への興味を持ってもらうために、埋蔵文化財センターの「おしごと」が体験できるイベントを毎年開催しています。

崎山貝塚縄文の森ミュージアムが平成28年に開館してから、今年で9回目の開催となりました。

今年度は例年人気のある拓本体験や土器の接合体験のほかに、収蔵庫のバックヤード探検や、実際に「おしごと」で用いる道具や本物の土器に触ることができる体験を新しく設けました。

特にバックヤード探検は、発掘調査で出土した資料を保管する収蔵庫内や、なかなか見ることでできない貴重な資料などを、間近で見ることができます。また、発掘調査で使っている測量機材も実際に覗いたり、触れたりできるようにしました。

収蔵庫を探検した参加者は、普段は入ることができない場所であるため、真剣に、そして興味深そうに見学していました。

今年度は2日間で94名の方が参加しました。



土器の接合体験の様子



バックヤード探検の様子

☎ 問い合わせ 文化課埋蔵文化財センター(65-7527)

## 「宮古と大仙の架け橋になろう!」

7月3、4日に市内の中学2年生10名が秋田県大仙市を訪問し、交流を行いました。

友好都市である大仙市とは、震災での復興支援を中心に交流を続けてきました。

生徒交流として、大仙市立仙北中学校の授業に参加しました。数学は一次関数の授業でした。理科は、金属の酸化に関する実験を行いました。素直で明るく積極的な仙北中の生徒と学び合いました。「また仙北中に行きたい」という声に参加生徒から聞かれました。

2日目は、「花火創造企業」と「はなび・アム」を見学しました。「花火でみんなを元気にしたい」という、大仙の方の花火にかける思いに触れ、地域の文化について考えることができました。

参加者は、両市の絆をさらに深めようという思いと、あらためて宮古の伝統と文化を学びたいという思いを強くしました。派遣に関わった皆様ありがとうございました。



大仙市立仙北中学校のみなさんと



宮古に戻る前 道の駅 なかせんにて

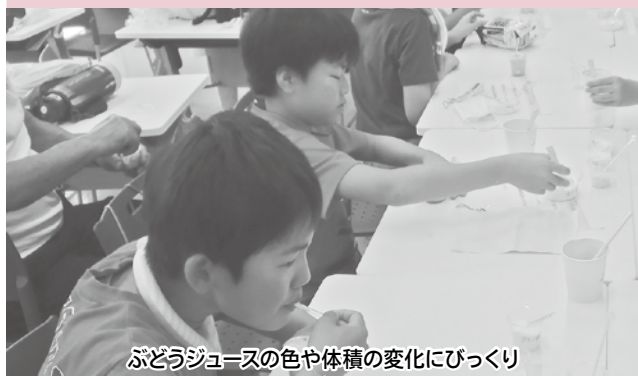
## わくわく!びっくりの連続!宮古ニュートン・サマースクール2024

令和6年8月9日(金)に「宮古・ニュートン・サマースクール2024」が行われました。

当日は、市内の小学生50名が参加し、身近なものを利用したものづくりや観察・実験など、普段なかなかできない体験をとおして、自然科学の力や不思議さ、面白さを存分に味わうことができました。

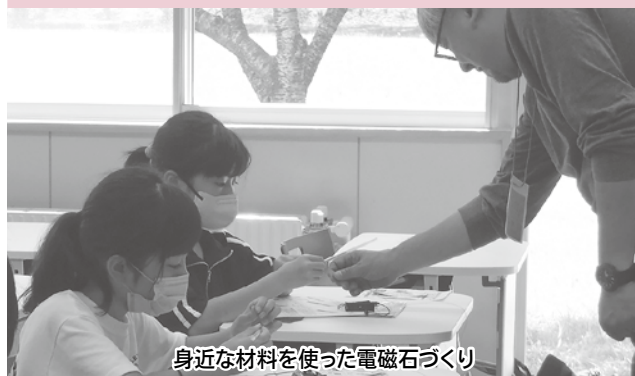
活動の様子を一部紹介します。

講師：お茶の水女子大学 露久保 美夏 先生  
ブース：「色が変わる?食べられる科学実験」



ぶどうジュースの色や体積の変化にびっくり

講師：東北学院大学 坂本 泰伸 先生  
ブース：「電気力で磁石の力を引き出そう」



身近な材料を使った電磁石づくり

### 参加した子どもたちの感想

- クエン酸と重曹を混ぜると、体積が大きくなるのが分かりました。
- 磁石と鉄が仲良しだと初めて知りました。●不思議なことがいっぱいあって楽しかった。またやりたいです。



# 生涯学習課

## 高校生ふれあい体験開催！ (乳幼児期家庭教育学級第3回はなまるフレンズと同時開催)

8月7日(水)に宮古市民総合体育館で、公益社団法人日本3B体操協会の公認指導者の坂下眞紀子先生を講師に迎え、市内高校生と乳幼児やその家族とのふれあい体験を行いました。

体験は2部構成で行われ、第1部では、参加した23名の高校生が坂下先生の子どもの発達や接し方などのお話に、真剣に耳を傾けていました。

第2部では、参加親子と高校生と一緒に、ボール・ベル・ベルターを用いた「3B体操」を体験し、みんな笑顔でふれあいを楽しんでいました。

高校生からは、「子どもとふれあう貴重な体験」、「進路の参考にしたい」などの声があり、この体験を通じて、家庭教育への関心が高まったように感じられました。



ベルを使ったふれあいの様子



坂下眞紀子先生と参加者

## 黒石市中・高校生との交流事業を開催

8月10、11日、姉妹都市である青森県黒石市中・高校生10名が宮古市を訪れ、市内の中・高校生10名と交流しました。

「新しい黒石のリーダー研修会 in 岩手県宮古市」と題して、1日目には田老地区で学ぶ防災を学習し、2日目には浄土ヶ浜ビジターセンター、崎山貝塚縄文の森ミュージアム、県立水産科学館を見学し、各施設でジオガイド、縄文キーホルダー作り、ホタテ貝の絵付けを体験しました。

参加者は、最初は緊張した様子でしたが、体験・交流をとおして仲を深めていました。





# 北上山地民俗資料館 開館30周年を迎えます



「地域の魅力再発見」(門馬地区の「去石」を見学する参加者)

北上山地民俗資料館は今年、開館30周年の節目を迎えます。これに伴いさまざまな記念事業を計画、実施しています。

7月には、認定を受けた「宮古市文化財保存活用地域計画」に関連して、「地域の魅力再発見」と題した学習会を門馬地区で開催しました。宮古市の最も西側に位置する門馬地区は、なだらかな地形に特徴的な姿の兜明神岳、閉伊川の源流域でもある区界高原や北上山地の最高峰・早池峰山の北面を有し、東側は旧宮古街道の最大の難所といわれた大峠までの広大な地域です。当館では早池峰山信仰や「早池峰のひのき」など、門馬地区の歴史や文化に関連した資料も展示しています。学習会では実際に地区内をめぐって石碑や樹木などを見学し、地質や地形もあわせてそれぞれ

の専門家から解説を受け、門馬地区の自然、文化、歴史、産業について学びました。

当館のような博物館施設では、見学会や体験学習などの参加者が理解を深めるための教育普及事業を行うことも、重要な役割のひとつとなっています。これまでに地域の皆さまにご協力をいただきながら、有形民俗資料の収集や聞き取り調査を行い、情報を蓄積してきました。今後は、市内にある未指定を含めた様々な文化財についても資料収集を進めるとともに、企画展や見学会などでその情報を発信していきたい考えです。引き続き、宮古市ならではの文化財を未来へ伝え残すため、地域に根差した活動をしていきます。

☎ 問い合わせ 北上山地民俗資料館(76-2167)

## 高田式体育教室 ダイヤモンドキッズカレッジを開催



高田延彦さんと参加者

8月18日(日)、宮古市民総合体育館で、高田式体育教室ダイヤモンドキッズカレッジが開催されました。

高田延彦さんが代表を務める高田道場のこのイベントは、今年度で11回目となりました。

50組100名の親子ペアが参加し、レスリングの要素を取り入れた高田道場オリジナルの運動に全力で取り組み、楽しみながら汗を流しました。

☎ 問い合わせ 生涯学習課(68-9120)

## 教育委員会議の主な議案

(令和6年4月～8月)

「教育委員会議」とは、教育行政に関して重要な事項を審議するための会議です。

令和6年4月から同年8月までの間、定例会を5回開催し、20件の議案を審査しました。主な議案は下記のとおりです。

- ◆宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて
- ◆宮古市学校運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて
- ◆令和6年度宮古市一般会計補正予算(第4号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて
- ◆宮古市教育振興基本対策審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて
- ◆宮古市立図書館協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて
- ◆令和7年度使用教科用図書の採択に関し議決を求めることについて

教育委員会議は、どなたでも傍聴することができます。開催日時等は、市ホームページでお知らせします。

☎ 問い合わせ 教育委員会事務局総務課(68-9114)

ホームページは  
こちら→

